



国政の迷走は地方の迷走を呼び、地方は疲れる。

地方の疲れは住民の無気力を呼び、行政の自信を喪わせる。

■自分自身の為の情報発信?

筆者は、住民運動に荷担したり選挙に出たり、当選すれば議員活動の報告にも使つたり、あるいは関わっている住民団体の活動報告など、様々なことに関して書いてきた。先だつても読者から「最近の記事は面白くない、議会での議論も見えない。あるいは、あの議員の取りあげていた問題はどうなったのか。そういう記事が欲しい」というようなお便りを頂いた。ほかの方からは「9月号の記事は同感だ」という共感のお便りも頂いた。

■あれから何十年?

弓削通信創刊時は全国がリゾート開発ブームで、故郷瀬戸内海の島々も巻き込まれ浮き足立つてしつかりお上にモノ申そうぜ。たとえばこういう方法もある。といふ一例として始まつた。これは過去にも何度も書いた。

## 求める心 その証としての行動

# 住民と議員との共働関係の確立を!



▲写真説明  
今年の久司浦地区の秋祭りには下弓削地区的名物曳きだんじりが参加した。久司浦のだんじりの先導で、地区内を引き回した。

効果は薄い。住民のそういう行動があつてこそ、それを伝える議員の言葉に「事実」としての裏打ちがされるわけだから。他の議員の取り組んでいる問題については、第一義的には当人が情報発信すべき事柄。成り代わつて他者がするのはどうかとは思う。それをすれば、必ず中継いだ者の主観が混入するから情報がゆがんでくる。

■住民・議員の共働は道遠し?  
一住民として行政に何をして欲しいかが明確であるならば、広報誌に投稿、あるいは首長に直接投書するのも効果的かもしれない。むろん身近な議員に伝えることも大事だろう。それをして上での行政が動かねば、その事実をもつて議員はハッスルできる。

よい行政を願うのは誰もが同じ。だが住民が行政に向かつて声を上げなければ、それは無かれど「住民と議員の共働」が必要。というと考え方方が大事なのだ。

そう言えば、モノ言わぬ議員が多い、と言う人もいる。ただそれは、それを言う人の憂さ晴らしでしかないのではないか? そもそも言わぬ議員を、住民が厳しく諫めたり責めたとかいう話は、今まで聞いたことがない。

中まで漂つている。早生みかんの爽やかな香りと、私の小学生の頃の運動会の思い出の香り。あの頃の運動会は秋が定番で、本当に抜けるような青空のもと、泣くほど嫌いな徒競走もがんばつた。

色と香りを届けてくれる。異常気象のせいでおそろしく成長した超大型台風接近の九月三連休。カーブファンの赤い集団は、降る雨を蹴散らし、マツダスタジアムに乗り込んだ。カープおやじの計算によれば、この日は優勝の消化試合のはずだった。けど、うれしい誤算で、勝てば胴上げというどんびりしゃの日となつた。おかげに台風も。必然的にスタジアムの熱



てください。赤、赤、赤ですうことで。まるでサルビアの花畑にいるみたいですねえ。」と。そうか、スタジアムにはサルビアが似合うよね。私達の狂わんばかりの応援の甲斐なく、その日のバンザイはならず。しかし二日後の甲子園で胴上げ。めでたしめでたし。毎年秋には、カープの赤が満

道鏡を守る会事務局長  
宮城県 本田義幾

おたよりから

私が御島(弓削島)に足を入れたのは昭和50年でした。乗船場か、教えて頂いて向かった役場でか忘却しましたが、そこで弓削町史冊子版を頂き、それには他県の弓削地名も載っていて、帰りの足で岡山の弓削を訪ねました。あれから40年経ちました。その町史のおかげで、私の弓削の旅が始まったと言っても過言ではありません。これまで4、5回御島を訪ねていますが、木下町長の名前はなぜか覚えています。面識はないのですが。

そのころ飲料水について、どうやって確保しているか関心はありませんでしたが、8月15日の弓削通信で、なるほどと思いました。

買水というのはペットボトルに入った水のことではないですね。

## お金にかえられない水

水関連の研究会に出たとき、いまや上水道は不要ではないか。飲めるようにする経費を考えれば、水事業は下水道だけやって、飲むのはペットボトル水で、と言う人がいました。

確かに深層水、ミネラル水なぞ通販もあります。でもそれって金を使うこと。駅のホームから水飲み場が消えて困っているのは私だけでしょうか?

たしかに飲み水で排泄物を流すというのは贅沢です。ですが、飲み水がいつでも、どこにでもある重要性に、大震災で気づかされました。ペットボトルでは足りないです。とはいコスト面から上水道を維持するかどうかは、大きな課題です。そんなとき弓削島の経験を語ることは貴重です。お金に替えられない水です。

私の友人で水道料金集金して居る人がいます。その町は、いくら滞納しても水道だけは止めないそうです。

因島・瀬戸田口ヶ映画  
ずっと伝えたかった  
望郷  
大東駿介  
眞地谷しほり  
菊池健雄監督  
2017年10月27日(金) 場所 因島市民会館大ホール  
開場 18:00 上映 18:30~20:22  
【販売】興文館書店 因島土生町  
TEL: 0845-22-0251 ●特別前売り販売中 1,100円

